

C

2007 年度事業計画書

2007 年 4 月 1 日から 2008 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ADRA Japan

1 事業実施の方針

(1) ADRA Japan の事業実施基本方針

ADRA Japan の事業実施基本方針は、当団体の 3 つの使命である国際開発支援、人材教育、啓発をより有効的にかつ、効果的に実現していくことである。そのために ADRA Japan は各事業の担当者とその責任を明確にし、立てられた計画に沿って実施していく。

「国際開発支援」の実施は、支援対象の ADRA 各国支部と健全な信頼関係を構築すること、すなわちそれぞれの支部の人材、実績、地元における評価、また運営方法を基本とした能力を確認していくことから始まる。いずれの支援もまず、資金源が確保でき、明確な支援計画ができたことを確認し実施する。さらに事業責任者による事業及び会計の定期報告書を支部長が確認し、理事会・監事に進捗状況を報告する。また、これら国際開発支援活動を通して多くの人々に新たな知識や技術を提供し、それを社会に還元してもらうことも ADRA Japan の役割として認識している。「人材育成」の実施方針は、人々に国際協力の理念探求の機会を提供することと同時に支援活動への現場体験の機会を提供すること、さらには日本人として国際協力への使命を果たすことのできる人材を輩出していくことである。それにより海外 ADRA 支部の運営能力を強化し、事業資金をより効率的に活用するために貢献する。「啓発」の実施方針は、広く人々に当団体の活動を報告し、国際協力に対する理解と協力を呼びかけていくことである。その過程において賛助会員やパートナーとなる支援者の増加を図り、ADRA の活動を精神的、経済的に支える土台を築いていく。

(2) 2007 年度事業計画

2006 年度は、ラオス、ベトナムにスタッフ長期派遣し、人材育成を兼ねてニーズアセスメントをおこなった。この調査をもとに 2007 年度は外務省等に申請をおこないプロジェクトを立ちあげる予定である。毎年医療チームを送っているネパールには、引き続きスタッフ派遣をおこない、事業を継続的におこなう。また、ミャンマー事業は 2006 年度に JICA 草の根パートナー型資金が承認されており、ミャンマー政府の事業承認をもって事業を開始する。アジアにおける数少ない支援国である日本に設立された ADRA Japan は世界の必要に応えると同時に上記以外の開発支援を必要としている同アジア圏の支部に対しても積極的に支援をしていく予定である。そのためにも各国支部の運営能力を確認し、信頼関係を構築するための調査が必要となる。各国支部を訪れ調査をすると同時に小額の資金支援から始め、その対応や運営を評価し次年度への支援対象国

としての可能性を確認する。

ADRA Japan はアジアを中心に支援活動をおこなっているが、世界で最も貧しい国々が集中しているアフリカ問題にも取り組んでいかなければならないと考える。貧困、HIV/AIDS 等の感染症や病気、干ばつや洪水などの自然災害、そして紛争による破壊、難民、少年兵、少女兵の問題等々、世界が抱える問題をすべて含んでいるのがアフリカである。その影響はアフリカだけに留まらずに地球規模の課題となっている。ADRA Japan は 2004 年より人材を派遣し、リベリア、スーダンで事業をおこなってきた。2006 年からは緊急救援事業としてスーダン南部の帰還民支援事業をジャパン・プラットフォーム、UNHCR との協働でおこなっている。2007 年も引き続き、支援を展開していく。

また、近年、南海地震、東海地震、首都圏直下型地震等、日本国内においても大きな災害が起こる可能性が増している。日本国内における大災害にも対応できるように対応プランを考え、準備していく。

これらの支援活動を支えるためには、計画的な募金活動が必要である。2007 年度は更に募金活動に力をいれなければならない。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
開発支援事業						
ネパール 口唇口蓋裂手術 医療支援	日本人医療チームを派遣しての口唇口蓋裂患者への手術、技術交流	2007/05 ～ 2008/02	ネパール バネバ市	3人	直接 60 名 間接 300 人 日本人参加者 30	8,000
ネパール スポンサーシップ	ネパールの子どもへの学資支援	通年	ネパール	2人	学童児 115 名	1,100
ネパール 簡易保健所建設	簡易保健所を建設することにより衛生状態の改善に努める	(2006/10) ～ 2007/12	ネパール カブレ郡	2人	地域住民等 不特定多数	4,000
ベトナム 母子保健事業	北部における母子保健のための人材育成	2007/04 ～ 2008/03	ベトナム北部	2人	地域住民等 不特定多数	7,000
ラオス 開発事業支援	貧困家庭の自給自足及び家計収入を向上支援	2007/04 ～ (3年)	ラオス ルアンナムター県	2人	地域住民等 不特定多数	12,000
ミャンマー 経済基盤向上支援事業	貧困家庭の経済基盤向上支援をおこなう	2007/04 ～ (3年)	ミャンマー	2人	地域住民等 不特定多数	21,000
モンゴル 教育事業支援	2004,2005 年に支援したモンゴルの学校のフォローアップ	2007/04 ～ 2007/10	モンゴル	3人	地域住民等 不特定多数	1,000
リサイクル支援 中古救急車	中古救急車を途上国に送り活用する	通年	ネパール	2人	地域住民等 不特定多数	200

開発支援	開発事業のプロジェクト形成調査、小規模事業への資金支援	通年	タイ・カンボジア・インド等	4人	地域住民等 不特定多数	700
緊急支援事業・復興事業						
スーダン 南部スーダン II	南部スーダンにおける帰還民支援	2007/04 ~ 2007/12	スーダン南部	4人	帰還民・地域住民等不特定多数	86,000
スーダン 南部スーダン III	南部スーダンにおける帰還民支援	2008/01 ~	スーダン南部	4人	帰還民・地域住民等不特定多数	11,000
日本 能登半島地震被災者支援	2007年3月におこった能登半島地震の被災者への支援活動	2007/04 ~	日本	2人	地震被災者 不特定多数	1,000
日本国内 災害対応	日本国内における災害時の計画と対応を作成	2007/04 ~ 2007/12	日本	3人	日本国内 不特定多数	2,500
緊急救援事業	自然災害・紛争による被災状況の調査、資金支援	随時	不特定地域	5人	被災者等 不特定多数	5,000
人材育成事業						
三育学院短期大学専攻科	国際医療の現場を体験することにより国際医療の現状理解	2007/05 ~ 2007/08	ラオス	3人	地域住民等 不特定多数 参加者	1,200
夏季学生ボランティア派遣	国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解	2007/05 ~ 2007/09	随時決定	3人	地域住民等 不特定多数 参加者	1,200
春季学生ボランティア派遣	国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解	2007/07 ~ 2008/03	随時決定	3人	不特定多数 参加者	1,500
シニア・ファミリー海外ボランティア派遣	熟年の方々や家族で国際開発支援の現場を体験することにより開発の現状理解		随時決定	3人	地域住民等 不特定多数 参加者	1,400
インターン受け入れ	インターンシップを通して国際開発について学ぶ	随時	東京事務所	3人	インターン	200
講師派遣	高校・大学等の教育機関等への講師派遣	随時	日本国内	2人	不特定多数 受講者	100
啓発及び広報活動						
ネパール事業視察	ネパールにおける事業を支援者に紹介	2007/04 ~ 2007/12	ネパール	2人	参加者	2,300
活動報告書の作成及び発行	季刊誌（ADRA News）、年次報告書の作成、発行	随時	東京事務局	10人	会員・他購読者 15,000人	2,100
メールマガジン Web Site	メールマガジンの発行、ホームページの作成、管理	随時	東京事務所	3人	不特定多数	400
資料作成	啓発活動のための資料作成	随時	東京事務所	5人	不特定多数	200
イベント参加	啓発活動のため、国際協力イベントに参加	随時	日本国内	5人	不特定多数	200

報告会	活動報告会の開催	随時	日本国内	5人	不特定多数	1,000
小・中学校訪問・受け入れ	教育機関での講義、修学旅行生の受け入れ	随時	日本国内	5人	不特定多数	200